

# 舞鶴高専技術通信

## (2013冬号)

2014/01

舞鶴工業高等専門学校 地域共同テクノセンター

### 平成25年度「地(知)の拠点整備事業 (大学COC事業)」

本校は平成25年度「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」の採択校となりました。

「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」とは、文部科学省が地域を志向した教育・研究・地域貢献を進め、地域の課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学(高専)の機能強化を図ることを目的としています。



### 産学連携、および研究技術の関連行事

#### 1. 丹後機械工業協同組合との協定書締結

「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」の連携先になっていただいたことが直接の契機となり、平成25年5月16日(木)に締結しました。



#### 2. 第11回全国高専テクノフォーラム

全国高専テクノフォーラムは全国の高専の産学連携活動を推進している教職員が一堂に会して意見交換するための場として毎年開催されています。昨年度は舞鶴高専が世話校となり、国立京都国際会館にて開催されました。今年度は豊田高専が世話校となり、8月20日(火)に愛知県産業労働センターにて開催されました。特に今年度は高専制度創設50周年に当たるので、50年を振り返り、今後の高専制度の在り方を考える節目の機会ととらえ、「高専制度創設50年、さまざまな絆で新たな発展」をテーマとして開

催されました。次に示すように盛りだくさんのイベントが催され、盛大なフォーラムとなりました。

- ・基調講演2件
- ・パネル討論「高専制度創設50年、高専に求めるもの」
- ・企業と高専によるパネル展示
- ・技術相談コーナー
- ・企業と高専によるニュース/シーズプレゼンテーション
- ・産学官交流会
- ・一般市民向けイベント:高専ロボコンのデモ、小中学生向けの理科工作教室

#### 3. 情報科学センター講演会(公開講演会)

平成24年12月4日(火)、舞鶴高専において、第35回情報科学センター講演会が開催されました。機械工学科室巻孝郎助教が「良い形をつくろう!(進化型アルゴリズムによる構造最適設計)」、自然科学部門 宮崎昭仁准教授が「舞鶴湾周辺域における大気中NO<sub>2</sub>濃度の社会地球化学 ~10年7ヶ月の記録~」という演題で講演を行いました。

平成25年6月5日(水)、舞鶴高専において、第36回情報科学センター講演会が開催されました。建設システム工学科渡部昌弘助教が「伝統的木質構造を再評価する、ということ」という演題で講演を行いました。

平成25年11月25日(火)、舞鶴高専において、第37回情報科学センター講演会が開催されました。電気情報工学科内海淳志准教授が「見えない光の利用 ~近接場光応用技術の開発~」、電気情報工学科井上泰仁講師が「コンピュータで生物を理解する」という演題で講演を行いました。

次の講演会は6月頃の予定です。学外からも自由に参加可能ですので、講演時期が近づきましたら、舞鶴高専ウェブサイト上でご案内させていただきます。

#### 4. 平成25年度特許セミナーを開催

平成24年度に引き続き、平成25年度は本科4、5年生を対象とした特許セミナーを平成25年10月23日(木)と11月6日(木)の2回開催しました。



古谷特許事務所 所長の弁理士古谷榮男 氏に第1回目は「どんなものが特許になるか」、第2回目は「特許権の効力」を主なテーマとして、具体例を交えながら特許に関する基礎知識、また社会人になるに当たって最低限必要な特許の知識を学びました。また、高専出身の古谷先生から楽しく授業を受ける方法や学校生活を送る方法など人生の先輩としてのアドバイスもあり、非常に興味深く聞き入る学生の姿が多く、積極的に質問を投げかける学生たちの姿が見られました。



## 5. アントレプレナー講演会

1月14日(火)に、地(知)の拠点整備事業として、アントレプレナー講演会を開催しました。

(株)jig.jp 代表取締役社長 福野泰介氏を講師に招き、高専卒業後すぐに起業して以来現在3社目となるjig.jpで提供しているサービスや、最近では自治体が公開するデータ(オープンデータ)の利活用にも意欲的に関わっていることなどを、実際にiPadを用いてプログラミングや検索をしたりしながら講演をしていただきました。その後、今後起業を目指す学生達との座談会も行われました。



## 6. 社会基盤メンテナンス教育センター開所式

1月23日(木)に、社会基盤メンテナンス教育センター開所式を開催しました。

社会基盤メンテナンス教育センターは、老朽化した橋やトンネル、高速道路などが全国的に問題となる中、これら社会インフラの維持管理や修繕などに対応できる人材育成を目的に開設しました。本センターでは本校学生はもちろん他高専の学生や自治体職員なども受け入れ、座学だけでなく全国各地から 集め



た劣化した橋の部材なども活用し、実践的な教育を実施していきます。

式典には独立行政法人土木研究所などの関係機関や連携事業を推進する13高専の先生方など、約30名の方にご出席いただきました。今後も各機関のご協力をいただきながら、教育システムの充実を行っていきます。

## ご意見ご要望の募集について

舞鶴高専技術通信をより充実したものにして行くため、外部からのご意見や技術記事等のご要望を広く求めています。舞鶴高専の教職員が一丸となって、企業の皆様に役立つ情報を順次お届けして参ります。舞鶴高専から「プロジェクト参加募集」、「勉強会の開催案内」、「研究紹介」もお伝えする予定です。忌憚のないご意見・ご要望を、地域共同テクノセンター事務局・自然科学部門 宮崎昭仁までお寄せください。